

## 5 カローリング



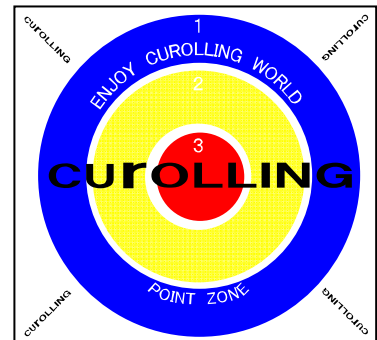
場所	人数	対象年齢	運動強度
屋内	1チーム 3名	誰でも可	軽度

### 特色

カローリングは、カナダや北欧の国々で親しまれている氷上のスポーツであるカーリングからヒントを得て誕生した、3世代でできる新しいスポーツです。屋内フロアで、ジェットローラをフロアの先端に設けたポイントゾーンを目標に走行させ、相手チームと交互に投球し、ぶつけ合いをして得点を競います。力加減が勝利のコツです。

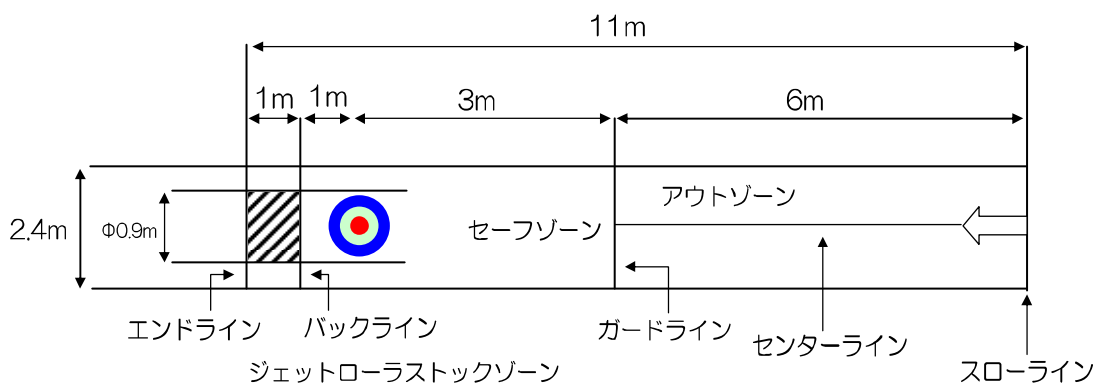
### 用具

- <ジェットローラ> 重さ2kg、赤4個、黒4個
- <ポイントゾーン> 94cm正方形、特殊合成紙
- <スコアカード> 私製



ポイントゾーン

### コート



### 競技方法

- (1) 1チーム3人で、ジェットローラ6個(同色)を使用します。
- (2) 1試合6イニング制とします。所用時間は約30分間です。先攻、後攻は両チームの主将がジャンケンで決め、各イニングにおいて、勝ちチームは次のイニングで先攻になります。

- (3) 各チームは、ファーストプレイヤー、セカンドプレイヤー、主将の順序で相手チームの競技者と1個ずつ交互に投球します。投球順序は、途中で変更することはできません。
- (4) 床面に片膝、又は両膝をつき、ジェットローラのハンドル上部に手のひらを軽くあて、2・3回前後に軽く滑らせ目標に向けて押し出すように投球します。中腰姿勢や立ったり、走りながらの投球は全てアウトです。足が投球ラインを超えるとアウトになります。オンラインはセーフです。投球する際に手がラインを超え、床面に手がついてもアウトになりません。
- (5) ポイントゾーンとは、標的となる直径90cmの円形をいい、中心径30cmの赤色を3点、中間径60cmの黄色を2点、外周径90cmの青色を1点とします。ジェットローラがポイントゾーンに停止、又はジェットローラの外周が真上方向から見て少しでもポイントゾーンに接触していれば得点となります。
- (6) 投球したジェットローラが、ガードライン、サイドラインのライン上、及びラインの接触点上において、停止または接触している場合は全てアウトとなり、投球チームの競技者によりジェットローラを直ちに除去します。ジェットローラが、バックライン上に停止または接触している場合はセーフです。
- (7) ジェットローラのポイントゾーンおよびコートライン上の位置確認や合否の判定および得点計算は、両チームの副主将で協議して決定します。
- (8) ポイントゾーンの中心点に最も近い位置にジェットローラを停止させたチームが勝ちとなります。この勝ちチームのジェットローラに順次、連係した位置にある勝ちチームのジェットローラは全て得点の対象となり規定の得点が加算されます。この場合、中心にもっとも近いチームのジェットローラが1個存在し、次に相手チームのジェットローラが、中心から2番目にあり、次に勝ちチームのジェットローラが3番目に近接している場合は、2番目の相手チームのジェットローラが3番目に勝ちチームのジェットローラを遮断しているため、中心に最も近いチームの1個のジェットローラのみが得点となります。
- (9) 両チームのジェットローラがポイントゾーン上に存在しない場合は、両チームの得点は0点になり、次のイニングへ移行します。先攻の順序は同じで競技を進めます。
- (10) 競技が終了し、得点の多いチームが勝ちとなります。両チームの合計得点が同点の場合は、6イニングの得点チームが勝ちとなります。6イニングの得点が両チーム0点の場合は、順次5, 4, 3, 2, 1イニングの得点チームが勝ちとなります。
- (11) スコアカードの記入は、上段に味方チーム名、下段に相手チーム名を記入します。各イニングにおいて先攻チームは左隅上覧に 印マークをします。

チーム回数	1	2	3	4	5	6	合計
A	0	5	3	0	0	5	13
B	3	0	0	0	8	0	11

